

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第4区分  
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-515142(P2001-515142A)  
 【公表日】平成13年9月18日(2001.9.18)  
 【出願番号】特願2000-508839(P2000-508839)  
 【国際特許分類】

**C 2 5 C 7/04 (2006.01)**

**B 0 1 D 21/24 (2006.01)**

**C 2 5 C 7/00 (2006.01)**

【F I】

C 2 5 C 7/04 3 0 1

B 0 1 D 21/24 F

C 2 5 C 7/00 3 0 1

【手続補正書】  
 【提出日】平成17年8月26日(2005.8.26)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電解槽の底の上に沈降した固形物の除去のために前記電解槽の底部を該槽の他の部分から分離する分離用部材であって、

該分離用部材の軌道を形成する支持制御部材が前記電解槽内に設置され、

前記電解槽の少なくとも1つの後壁と、該後壁の最も近くに位置する電極との間に残された空間を通じて、該分離用部材が前記電解槽内に挿入され、かつ該槽内から取り出されることを特徴とする分離用部材。

【請求項2】 請求項1に記載の分離用部材において、該分離用部材は構成要素で作られており、該構成要素は互に屈曲するように相互に連結されることを特徴とする分離用部材。

【請求項3】 請求項1または2に記載の分離用部材において、該分離用部材によって前記電解槽の底の付近に分離された空間と、前記後壁の近傍に位置する空間とが一つの本質的に閉じた空間を形成することを特徴とする分離用部材。

【請求項4】 請求項3に記載の分離用部材において、該分離用部材が前記電解槽内に一つの密閉された均一な表面を形成することを特徴とする分離用部材。

【請求項5】 請求項1または2に記載の分離用部材において、該分離用部材によって分離された空間が、電解液を含む電解槽の空間に連通していることを特徴とする分離用部材。

【請求項6】 請求項1から5までのいずれかに記載の分離用部材において、前記電解槽の底部に洗浄剤を供給するために、固形物洗浄装置の少なくとも一部が該分離用部材に取り付けられていることを特徴とする分離用部材。

【請求項7】 請求項6に記載の分離用部材において、前記洗浄剤が液体であることを特徴とする分離用部材。

【請求項8】 請求項6に記載の分離用部材において、前記洗浄剤が気体であることを特徴とする分離用部材。